

(シラバス)

科 目 名	保護者に対する理解および支援 - メンタルヘルス -		
担当教員	芳川玲子		
【授業概要】 本講義では、保育現場における保護者支援の実際と理論を学びます。 子育てを取り巻く社会的背景、保護者の心理、信頼関係の構築技法、そして障害児の保護者への対応を中心に、実践的・倫理的視点を含めて多角的に考察します。 特に、障害受容という繊細なプロセスにおける支援者としての関わり方に焦点を当て、共に歩むパートナーとして成長するための専門性を深めていきます。			
【授業の到達目標】 保護者との信頼関係構築の基礎理論と応用技術を理解する 障害児の保護者に対する障害受容支援を適切に行う力を身につける 自身の感情や姿勢を省察し、倫理的かつ継続的な支援者であり続ける			
【授業の形態】 メディア授業の実施【あり】 <授業の特徴>（毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください）			
形態	実施	具体的に実施すること	
講義	◎		
グループワーク・質疑			
演習			
プレゼンテーション			
制作			
その他 ()			
形態	実施	具体的に実施すること	
講義	◎		
【授業計画】			
回	内 容		
1	子育て支援の社会的背景と保育士の役割		
2	保護者支援と発達障害における障害受容の理解		
3	信頼関係を築くコミュニケーション技法		
4	困難な保護者対応と実践的アプローチ		
5	保護者と「連携」する上での姿勢と専門機関への紹介		
6	保育士の自己理解と倫理的対応		
試験			
【履修上にあたっての準備】 事前に授業外学修課題を記入してから視聴してください。			
【授業外学修（予習・復習）】 授業外学修課題（予習）：現在の園での保護者像を整理し、600字程度にまとめなさい。終了後試験とともに提出してください。 授業外学修課題（復習）：各回からキーワード3つずつピックアップし（合計30個）、Word（A4サイズ）に書きだし、終了後試験とともに提出してください。			
【評価方法】 レポート（1,600字程度を提出）：50%、授業外学修課題（予習）：30%、 授業外学修課題（復習）：20%、終了後試験は視聴録画の中に提示します。			

【教科書】

なし

【参考図書】

木曾陽子：気になる子の保護者支援：揺れ動く思いに応じた保育者のかかわり, 中央法規出版, 2024
田中真理他編：発達障害と出会うとき：事例と研究知見から考える自己理解と支援. 慶應義塾大学出版会, 2024